

日本工学院専門学校		開講年度	2020年度		科目名	素描演習1	
科目基礎情報							
開設学科	マンガ・アニメーション科		コース名	全コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	45時間
単位数	1単位					授業形態	実習
教科書/教材	教員・卒業生の参考作品、各種モチーフ等。						
担当教員情報							
担当教員	斉藤 里香・藤田 貴也			実務経験の有無・職種	有・画家		
学習目的							
素描(デッサン)に於ける「ものの見方、表現方法」の基礎的な知識・技術を習得し、的確に描画できる実力を備える。							
到達目標							
描画材料の使用法に始まり、素描の基礎の基礎から学ぶ中で、癖なく、正しい素描の表現を出来るようになることを目標とする。 次年度の応用へ向けて基礎的な描写力を備え、知識・技術を学ぶだけでなく完成まで描き切れる集中力の持続力も備えられるようになる。							
教育方法等							
授業概要	人物・静物・風景のモチーフを中心に初歩的でシンプルな課題から制作し、徐々にモチーフの難易度を上げて行く。 1回(3時間)で終わるモチーフも有れば2回続けて(6時間)制作するモチーフも有る。 導入では全体に向けて解説をし、制作中は個人指導を主体とする。 作品ごとに最後は講評会を全体で行うか、成績採点後の返却時に個別に指導をする。						
注意点	苦手意識があっても手を止めず描き続ける事が重要。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	課題	80%	課題の完成度、レベル、理解度を総合的に評価する				
	授業態度	20%	作品制作への積極性を評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	オリエンテーション			道具説明 鉛筆削り ブロック導入 クロッキー			
2回	ブロック ①			二点透視によるパースを理解し描ける			
3回	ブロック ②			二点透視によるパースを理解し描ける			
4回	ティッシュ箱 ①			前回のモチーフの応用で、レタリングも含め描けるようになる			
5回	ティッシュ箱 ②			前回のモチーフの応用で、レタリングも含め描けるようになる			
6回	円柱			楕円のパース・曲面の陰影・稜線を理解して描けるようになる			
7回	缶 ①			レタリング・金属の質感を的確に捉え描けるようになる			
8回	缶 ②			レタリング・金属の質感を的確に捉え描けるようになる			
9回	球			球体の陰影を理解し描けるようになる			
10回	カボチャ ①			量感・個有色を理解し描けるようになる			
11回	カボチャ ②			量感・個有色を理解し描けるようになる			
12回	頭蓋骨 ①			人体表現導入・プロポーションを理解し描けるようになる			
13回	頭蓋骨 ②			人体表現導入・プロポーションを理解し描けるようになる			
14回	自画像 ①			構図・骨格・比率・質感を理解し描けるようになる			
15回	自画像 ②			構図・骨格・比率・質感を理解し描けるようになる			